

～新宿駅周辺地区協議会～

第9回地域交流分科会 概要

平成24年12月5日(水) 10:00～12:00  
角筈特別出張所 2階会議室

出席者：委員 10名 高橋工芸社 1名 事務局 3名

1 リーダーより

会議に先立ってリーダーよりお話がありました。

2 議題

(1) 「わいわい地域交流！」27号校正

校正刷りを見ながら確認、検討しました。次のように決まりました。

| 表紙写真 | 差し替える。新宿中央公園内の桜(満開時)の写真を探して使う。   |
|------|--|
| 中面   | <ul style="list-style-type: none"><li>・団体名は写真の上、写真のキャプションは写真の下へ。</li><li>・文字の訂正「楽しんでします」→「楽しんでいます」<br/>「保健師さん」→「保健師」</li><li>・団体紹介の順番を少し変える。</li><li>・活動紹介の文章の長さを揃える。(一行の文字数を同数にする。)</li><li>・「西新宿シニア活動館」の正式名称を確認し、(旧西新宿ことぶき館)と入れる。</li><li>・写真の下地に入っている罫線は外す。</li></ul> |
| 4面   | <ul style="list-style-type: none"><li>・春まつりの告知は昨年写真とまつりの幟の写真を入れる。</li><li>・コラムのタイトルを担当委員が考えてつける。</li><li>・コラムの文字の訂正 「月並際」→「月並祭」</li></ul>  |

27号紙の事務局への納品は12月27日の予定です。

(2) 他分科会の報告

事務局から報告がありました。

<安全安心を考える分科会>

11月14日 普通救命講習会

2月7日 見学会 本所防災館

3月 中央公園春まつりに「自転車マナー教室」の出店を予定

<暮らしと住まいを考える分科会>

12月12日 定例会(見学会の予定でしたが中止となりました)

来年度の取組み等を協議します。

<役員会>

1月18日 15時～ 角筈特別出張所 2階会議室

### (3)「秋を探そう中央公園！」について

#### ①振り返り

当日の反省会の概要と回収されたアンケートが資料として配布されました。  
また、当日の参加者人数が事務局より下記の通り報告されました。

〔 プログラム配布数 92 枚 内訳：スタッフ 39 件 一般 53 件 〕  
〔 散策参加者約 14 名 食事のみの参加者多数 〕

#### ②今後の方針

散策や工作の参加者に比べて食事のみの人数が多いことや、ホームレスが来場した時の対処など、振り返りで出された感想から、今後の開催方法について協議しました。以下は委員や事務局から出た感想や問題点です。

##### <受付>

受付で、防災食とコンサートだけの参加でも良いかと聞かれその方にもプログラムを渡した。この人数が結構多かった。/ホームレスと思しき人(2名)はお断りした。/散策ツアーからの参加が原則でなければ、ホームレスの断り方が難しくなるのでは。受付係にとって負担では。

##### <散策>

散策に参加した地域の方で、自然に触れ合う機会がなかったので参加してよかったと言われた。意識のある方が参加しているのだと思う。/ツアーの引率は完璧な説明ができなくても、参加者と一緒に歩きながら知る、というのもよいのでは。/高齢者に30分の散策はキツイかも。/散策の参加者は10人余りが丁度よいと思う。

##### <防災食>

食事の用意に余裕があるので100食ではなく50食にしてはどうか。/防災食は「体験」ということなので、50食を配り終わった時点でそのコーナーは終了してもよいのでは。/出来上がった防災食を食べるだけでなく、実際に作る場所を見るところから「体験」してもらおう。出来上がりまでの時間(30分~40分)に散策や工作を楽しみ最後に試食というメニューにしてはどうか。その際は防災食を安全安心分科会に担当してもらおうと、他の分科会の協力が得られる形となり、共催イベントになる。/開催が平日なだけに参加者は高齢者が多い。食べる量が少ないので盛り付けが少量でパック数が多くできてしまった。食事だけに来場する方もいる。このイベントがすでに地域に定着しているので、目的の「交流」は果たしていると思う。/防災食100食よりもコンサートの謝礼金のほうが高いのに、100食が多いとはどういうことか。/防災食をもらって帰る(取りに来ただけ)人もいた。あの場で食事をしてもらわないと交流にはならない。「ここで食べてください。」というのが基本だと思う。/防災食コーナーにホームレスと同席で食事するのはよくない。

##### <コンサート>

コンサートの席(50席)は満席になり、周りで聴いている方(スタッフ含む)を入れると100名くらいはいたようだ。/コンサートはアマチュア演奏家に頼むなどして、謝礼金を引き下げることが可能だと思う。/以前はコンサート謝礼金は5万円で、会場でカンパを募ったこともあった。

##### <工作>

工作はしおり以外のものを作るなどの工夫が必要かも。

### <ホームレス対応について>

ホームレスが食事目当てに来たらどのように断るか。/ホームレスを一人二人受け入れるとすぐに広まり、何人も来ると思う。/地域に住んでいる人のイベントだと言って断る。/今までホームレスのことで問題があったことはない。これまで通りのやり方で差支えないのでは。/以前は保険加入の必要から参加者には住所氏名の記入をお願いしていた。このためホームレスの参加は防げていたと思う。

### <全体>

全体を通して参加しなくてはいけないというプログラムではない。/秋を探そう〜は、散策ツアーから始まり防災食→コンサート→工作という一連の流れのあるイベントだと認識していた。実際は防災食だけ参加の人やコンサートだけ聴く人などが多く、一連のプログラムにすべて参加する人の割合が少ない。準備にも時間と人数が掛かっているが、地域の人達と交流する、中央公園を活性化する、というこのイベントの目的はどのくらいまで達成できているのだろうか。/こういうことは続けていて意味がある。開催に反対意見があるでなければやっていくことでしかないのではないか。土日開催でもなければ参加者が急増するとも思えない。やっていることに意義があると思う。/このイベントを盛り上げるために、チラシを配るなどのPR活動を活発にしてより参加者を集める。/地区協議会の事業に対する補助金額が、来年度から一割削減される。これを機会に、例えばイベント等は目的に沿った開催内容であるか、補助金の使い方は妥当であるかなど、地区協議会の事業の在り方を見直す時期にきている。/当地区協議会は補助金については良心的な使い方をしていると思う。他地区では補助金額を使い切るぐらいの事業を実施しているところもあるようだ。/事業の一つに何かの啓発活動があり、そのためにグッズを使う(配布する)のは、その効果が上がれば問題ではない。/「地域交流」というのは数字に表れるものではなく、その効果はやり続けているこちら側が感じるものである。効果というよりも永遠のテーマとして継続していかないとできないことだ。/難しいことだが、補助金で活動している以上その効果を何らかの目に見える形で残さないといけない。/こういったイベントは実行委員のためのイベントになりがちなので、そこは気を付けていかないといけない。そのためにも基本的なコンセプト(目的)は変えずいかに集客できるかを考えていく必要はあると思う。地域交流が目的であれば、もう少し近隣に声掛けしていくとかの手間を掛けることが必要か。ホームレス対応にしても、基本コンセプトがぶれていなければこれを盾に入り口ではつきりとお断りできると思う。/委員はそれぞれ忙しい中でも、みんな(地域?)のためを思ってやっている。/ゆっくり時間を掛けて達成していけばいい。/以前カフェ形式の交流の場を開催する提案があったが、場所の問題などで折り合いがつかず、何年間か持ち越しになっていた。この分科会でできる地域交流の場を考え、中央公園を大事に思っていることだし、一年に一回のことならということで秋を探そう〜のイベントが始まった。/委員が自分たちで作り上げるイベントならそれで良いのだが、目的や内容を今一度精査しより良いものにしてはどうか。例えば防災食の提供の仕方や、プログラムの参加方法などの見直しを図るなど。/住んでいる場所によっては中央公園まで出掛けていくのが大変なのでは。/今後は委員が各町会にきちんと宣伝活動をしていく。/秋を探そう〜の中に参加者とお話をしたりといった交流の時間を持つのは難しい。/作業で忙しい時間に地域の参加者と会話できる暇はないが、来てくれたことはわかる。その際は目と目が合っただけで交流していると思う。

今後の方針を下記にまとめました。

- ◆ 「地域交流」という目的を果たすためにはどういった活動ができるのか、来年度の事業計画として1月から3月までの分科会で協議する。
- ◆ 活動の一つとして「秋を探そう中央公園！」を開催するのであれば、その詳細を検討する。

### 3 次回会議日程

日時： 1月9日(水) 10時 ~ 12時

会場： 角筈特別出張所2階会議室